

「選択2 グリーンライフ」シラバス

単位数	2 単位	学科・学年・学級	自動車科 3年B組 情報処理科 3年C組
教科書	グリーンライフ (実教出版)	副教材等	なし

1 学習の到達目標

交流・余暇活動の展開に必要な知識と技術を習得し、農業や農村のもつ多面的な機能と対人サービスの特性を理解するとともに、交流、余暇活動を導入した経営の改善を図る能力と態度を育てる。

2 重点目標

体験的な学習をとおして地域理解を深め、地域資源の発見に努める。  
農場内にある資材や生産物を使って、ものづくり体験する。

3 学習の計画

月	単元名	学習項目	学習内容や学習活動	評価の材料等
4	第1章 グリーンライフの世界	1 人間生活とグリーンライフ	人間生活とグリーンライフについて理解する。	授業の準備ができる。(教科書, ノート等) 学習への取組態度 ノートの記入ができる。
		3 グリーンライフの学びの世界	グリーンライフの学びの世について理解する。	
5	第2章 農業・農村の機能の発見と活用	自然環境と農業・農村の発見・活用	自然環境と農業・農村の発見・活用について理解する。 ・ 自然観察 (定点スケッチ等) ・ 地域を知る (周辺地域の散策・調査・地域マップの作成)	観察記録ノートの記入ができる。 提出物の提出ができる。 適期に必要な管理を理解し、各管理作業を確実に行うことができる。
		地域農産物の発見と栽培・加工	地域農産物の発見と栽培・加工について理解する。 ・ 環境整備活動 ・ 地域特産物の調査 ・ 作物の栽培実習 ・ 調理実習 ・ 作品製作	
6	第1章 グリーンライフの世界	2 グリーンライフと交流・余暇活動型経営	グリーンライフと交流・余暇活動型経営について理解する。	
	第2章 農業・農村の機能の発見と活用	自然環境と農業・農村の発見・活用	自然環境と農業・農村の発見・活用について理解する。 ・ 自然観察 (定点スケッチ等) ・ 地域を知る (周辺地域の散策・調査・地域マップの作成)	
		地域農産物の発見と栽培・加工	地域農産物の発見と栽培・加工について理解する。 ・ 環境整備活動 ・ 地域特産物の調査 ・ 作物の栽培実習 ・ 調理実習 ・ 作品製作	
7			定期考査 (期末)	定期考査

9	第2章 農業・農村の機能の 発見と活用	自然環境と農業・ 農村の発見・活用  地域農産物の発 見と栽培・加工	自然環境と農業・農村の発見・活用について理解する。 ・ 自然観察（定点スケッチ等） ・ 地域を知る（周辺地域の散策・調査・地域マップの作成）	授業の準備ができる。(教科書, ノート等) 学習への取組態度 ノートの記入ができる。 観察記録ノートの 記入ができる。 提出物の提出がで きる。 適期に必要な管理 を理解し, 各管理作 業を確実にを行うこ とができる。  定期考査
10			環境整備活動	
11			地域農産物の発見と栽培・加工について理解する。 ・ 地域特産物の調査 ・ 作物の栽培実習 ・ 調理実習 ・ 作品製作	
12			定期考査 (期末)	
1	第2章 農業・農村の機能の 発見と活用	自然環境と農業・ 農村の発見・活用  地域農産物の発 見と栽培・加工	自然環境と農業・農村の発見・活用について理解する。 ・ 自然観察（定点スケッチ等） ・ 地域を知る（周辺地域の散策・調査）	授業の準備ができる。(教科書, ノート等) 学習への取組態度 ノートの記入がで きる。 観察記録ノートの 記入ができる。 提出物の提出がで きる。 適期に必要な管理 を理解し, 各管理作 業を確実にを行うこ とができる。  定期考査
2			環境整備活動	
3			地域農産物の発見と栽培・加工について理解する。 ・ 作物の栽培実習 ・ 調理実習 ・ 作品製作	
			定期考査 (学年末)	

### 3 評価の観点

関心・意欲・態度	農村の豊かな自然や景観, 農業・農村の面的機能を活用した交流や余暇活動に興味・関心をもち, 農業・農村の特性の活用した対人サービスに関する実際の・体験的な学習をとおして, 栽培, 加工や自然体験の援助などを取り入れた経営改善を図る態度を身に付けている。
思考・判断・表現	地域調査の記録や国民の価値観の変化, また参加者ニーズと対人サービスとの関連を多面的に考察し, 農業・農村の持つ魅力を再発見することで課題を適切に判断するとともに, その課題解決のためにプレゼンテーションができる能力を身に付けている。
技能	交流・余暇活動の展開に必要な基礎的・基本的な知識と技能を身に付け, 農業や農村のもつ多面的な機能とそれを活用した対人サービスを適切に実施するとともに, それらを導入した経営についての考察などを的確に表現する。
知識・理解	交流・余暇活動の展開に必要な基礎・基本的な知識と技術を身に付け, 農業や農村のもつ多面的な技能と対人サービスの特性を理解し, 交流, 余暇活動を導入した経営の必要性について理解している。

### 4 評価の方法

定期考査, 4観点(関心・意欲・態度, 思考・判断・表現, 技能, 知識・理解)の4観点から評価基準に従い, 総合的に評価する。

### 5 担当者からのメッセージ(確かな学力を身につけるためのアドバイス, 授業を受けるに当たって守って欲しい事項など)

- ・遅刻, 欠席をしない。
  - ・授業の準備(授業に臨む気持ち, 時間を守る, 教科書, ノート, 不要な物は持ってこない等)を確実にする。
  - ・課題解決の意識を持ち, 何をすべきか, 常に考える習慣をつける。
  - ・コミュニケーション能力を育成する意識を持つ。
- 以上について意識して授業に臨んでください。